

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 5 区分
 【発行日】平成 18 年 7 月 27 日 (2006.7.27)

【公開番号】特開 2000-27045 (P2000-27045A)

【公開日】平成 12 年 1 月 25 日 (2000.1.25)

【出願番号】特願 平 11-182163

【国際特許分類】

D 0 2 J 1/08 (2006.01)

D 0 2 J 1/00 (2006.01)

【F I】

D 0 2 J 1/08

D 0 2 J 1/00 C

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 6 月 14 日 (2006.6.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 内部を長手方向に延在する系通路 (12) および該系通路 (12) を横切って交叉する流体の入口 (18) を有する本体 (11) からなる系条処理ジェット (10) において、前記系通路 (12) は前記長手方向に交叉する断面において主部分 (13) および該主部分 (13) よりも幅狭 (d) の系制御部分 (14) を有し、前記流体入口 (18) が前記系制御部分 (14) の幅 (d) よりも大きな幅 (w) を有していることを特徴とする系条処理ジェット。

【請求項 2】 前記流体入口 (18) が前記系制御部分 (14) に交叉し且つ流体を主部分 (13) の方向に方向付けることを特徴とする請求項 1 に記載の系条処理ジェット。

【請求項 3】 前記流体入口 (18) が前記主部分 (13) の幅 (D) よりも小さい幅 (w) を有していることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の系条処理ジェット。

【請求項 4】 前記系通路 (12) の入口および出口端部の近傍に系ガイド (15、16) を有している請求項 1 に記載の系条処理ジェットにおいて、該系ガイド (15、16) は走行系条 (17) を前記系通路 (12) の系制御部分 (14) を通って案内するように設けられていることを特徴とする系条処理ジェット。

【請求項 5】 前記系ガイド (15、16) が前記ジェット本体 (11) に対して接近および遠去かるように位置決め調節可能であることを特徴とする請求項 4 に記載の系条処理ジェット。

【請求項 6】 前記本体 (11) の外部と系通路 (12) とを連通して長手方向に延在する系掛けスロット (19) を具備した請求項 1 に記載の系条処理ジェットにおいて、系掛けスロット (19) が前記系制御部分 (14) に連通していることを特徴とする系条処理ジェット。

【請求項 7】 前記系掛けスロット (19) が前記本体 (11) の外部と系通路 (12) の間でカーブしていることを特徴とする請求項 6 に記載の系条処理ジェット。

【請求項 8】 前記系掛けスロット (19) の外側端部 (20) が系掛けスロット (19) の他の部分に対して拡開していることを特徴とする請求項 6 または 7 に記載の系条処理ジェット。

【請求項 9】 前記系通路 (12) の制御部分 (14) が実質的に平行する両側面を

有していることを特徴とする請求項 1 に記載の糸条処理ジェット。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

【課題を解決するための手段】

本発明は、内部を長手方向に延在する系通路および該系通路を横横切って交叉する流体の入口を有する本体からなる糸条処理ジェットにおいて、前記系通路は前記長手方向に交叉する断面において主部分および該主部分よりも幅狭（ d ）の系制御部分を有し、前記流体入口が前記系制御部分の幅（ d ）よりも大きな幅（ w ）を有していることを特徴とする

。